

城山小学校 第873回 平和祈念式 令和6年5月9日



火曜日に校長先生のもとにうれしい電話がありましたので紹介します。ゴールデンウィークに長崎を訪れ、城山小学校の平和遺構を見学していたら、城山小学校の児童数名が、丁寧に案内をしてくれたそうです。大変に感謝され、ぜひ、お礼を伝えてほしいとのことでした。

さて、テレビを見ていても、外国で戦争や紛争、争いが起きているニュースが毎日のように流れてきます。みなさんは、どのような気持ちでそのニュースを見ていますか？今から79年前、日本も外国と戦争をしていました。そのころ、この城山小学校にも40人くらいの先生方と1400人を超える子供たちが、不自由な生活の中で勉強をしていたそうです。そんな1945年8月9日、長崎に原子爆弾が落とされました。この間みんなで遠足に行ったビッグNスタジアム近くの500mの空で、それは爆発しました。それはたった1発。しかし、ものすごい威力をもった爆弾でした。その1発の爆弾で、26人の先生方と1400人あまりの子供たちが命を奪われました。もっと、遊びたかったと思います。もっと勉強もしたかったと思います。お父さんやお母さんとお出掛けしたかったと思います。しかし、そんな当たり前の願いも長崎の町も、すべてなくなりました。

命は絶対に奪われてはいけません。奪ってもいけません。自分の命も友達の名も大切にすることを忘れてはいけません。みなさんは、いま、幸せに生きていますか？命を大切にしていますか？いま、私たちにできることは、あの時、城山小学校で亡くなった先生方や子供たちのことを思って、手を合わせること 命を大切に生きていくことだと思います。

みなさんはどんな時に生きていると感じますか？「生きる」とはどんなことだと思いますか？ここで「生きる」という谷川俊太郎さんの詩を紹介します。難しい詩かも知れませんが、担任の先生方と「生きていくということ」を話してみてください。

生きる

谷川俊太郎

生きていくということ
いま生きていくということ
それはのどがかわくということ
木漏れ陽がまぶしいということ
ふっと或るメロディを思い出すということ
くしゃみをするということ
あなたと手をつなぐこと

生きていくということ
いま生きていくということ
それはミニスカート
それはプラネタリアム
それはヨハン・シュトラウス
それはピカソ
すべての美しいことに出会うということ
そして
かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きていくということ
いま生きていくということ
泣けるとということ
笑えるということ
怒れるということ
自由ということ

生きていくということ
いま生きていくということ
いま遠くで犬が吠えるということ
いま地球が廻っているということ
いまどこかで産声があがるということ
いまどこかで兵士が傷つくということ
いまブルゴが揺れているということ
いま今が過ぎていくこと

生きていくということ
いま生きていくということ
鳥ははばたくということ
海はとどろくということ
かたつむりははうということ
人は愛するということ
あなたの手のぬくみ
いのちということ